

2018年9月

つづきMYプラザ
TSUZUKI MULTICULTURAL & YOUTH PLAZA

プラザニュース

つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階
TEL：045-914-7171 FAX：045-914-7172
E-mail：my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL：https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/

第126号

申込み受け付け中！！

『自然を活かす』日本と英国の文化の融合を楽しみませんか

東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベント「日本とイギリス 文化の融合～コッツウォルズストーンと苔玉づくり～」では、ありのままの自然を切り取って鑑賞し、同じ視点で自然を楽しむ、自分だけの文化の融合と国際交流を楽しみます。

日時 10月14日(日) 13時～15時30分

場所 都筑民家園

一般展示

10月13日(土) 荒天中止
10:00～16:00

ボタニカルアートとコッツウォルズストーン石積みをどなたでもご覧いただけます。また12日には石を積みあげる作業もご覧いただけます。

2019年に横浜国際総合競技場でラグビーワールドカップ決勝戦が開催され、2020年には横浜国際プールがオリンピック英国代表チームの事前キャンプ地となります。



苔玉づくりと
コッツウォルズ
ストーンのおはなし



ボタニカルアートの
おはなし



茶の湯で交流会

詳しくはつづきMYプラザホームページまたはチラシをご覧ください。

9月11日申込みスタート！！



日本語ボランティア入門講座

地域の日本語ボランティア・ゼロからのスタート
～外国人に日本語を教えるための基礎知識～

地域の外国人に「日本語を教える」活動、興味はあるけど…難しそう？よくわからない？都筑区に暮らす外国人は増えているのに、日本語ボランティアが足りず、日本語教室に受け入れができないのが実情です。心がまえや教え方の基礎を学び、共に地域住民である外国人のサポートに一步踏み出しませんか？

第1回 10月17日(水) 「日本語ボランティアとは」

第2回 10月18日(木) 「日本語の教え方①」

第3回 10月19日(金) 「日本語の教え方②」

参加費 全3回で 1,000円

【昨年度参加者の感想】

- ♥日本語ボランティアは大変だけど、おもしろい活動だと感じました。
- ♥教える場面を見学して、やってみたいという気持ちが強くなりました。

詳しくはつづきMYプラザホームページまたはチラシをご覧ください。

グローバル人材と人間力 ～信頼されるボランティアを目指して～

8月7日、8日、9日の3日間にわたり、人間力を磨き主体的に動けるボランティアになることを目指して、様々な観点から考えました。



①「パラリンピックの魅力を知る」

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部

田中暢子教授

**Impossible (できない)・・・→ほんの少し
の手助けで・・・→I'm possible(私はできる)**



パラスポーツの歴史や、世界の障がい者の現状や意識の違いなど、様々な視点からお話ししていただきました。



また、大学院生の森谷航さん、絹村広誠さんにもお手伝いいただき、実際に車イスに乗ったりアイマスクをして歩いたり、その介助をしたりしました。不自由さや不安さを知る有意義な体験となりました。

②「スポーツボランティアを知る」

日本スポーツボランティア・アソシエーション 宇佐美彰朗理事長

ボランティアの五原則は

「自主性」「公益性」「無償性」「先駆性」「継続性」



ご自身も3度の五輪マラソンに出場された宇佐美先生は、その豊富なご経験からスポーツボランティアを取り巻く日本での実情等を、楽しく、情熱的にお話ししていただきました。また、元ブラジルのバレーボール五輪選手マリア・イザベルさんの突然のご登壇というサプライズもあり、ボランティアを受け入れる側からの貴重なお話を聞くことができました。



ボランティアさんの「笑顔」「優しさ」「積極性」がうれしいで

③「本物の笑顔を知る」

好印象プロデューサー

小笹 陽子さん

**笑顔は世界の共通言語
良いコミュニケーションの入口**



ストーリーと鏡を使って、魅力的な笑顔の作り方の実践練習をしました。この日の講座は、テーマどおり終始笑いにあふれたものとなり、セミナー後は「これからは笑顔の練習を毎日したい」との声が受講者から多数聞かれました。



④「参加する喜びを知る」

実際にオリンピック等の国際大会に審判やボランティアとして参加した3人の方を、ゲストスピーカーとしてお招きしました。臨場感たっぷりの経験談はとても興味深いもので、座談会の輪では受講者たちが活発に質問する姿が見られました。3日間にわたったセミナーは、活気に満ちた中で締めくくられました。

ゲストスピーカーの方々



長野オリンピック
通訳ボランティア
杉浦美香さん



国際スケート連盟
審判員
山田登美子さん



パンパシフィック
水泳事前キャンプ
通訳ボランティア
根本ケイコさん



「自分からやろうと思ったことは、 言われてから何かをするより楽しめる」

今年の「はあと de ボランティア」には小学5・6年生 67名、中高生 257名が参加しました。都筑区のいろいろな場所でボランティア体験をした子どもたちは、8月25日に集まってそれぞれの体験や、体験を通して感じたこと、学んだことなどを分かち合い、グループに分かれて「この夏の一句」を作りました。



ボランティアをして気が付いたこと

- ・ 助けるだけじゃなくて話を聞くのもボランティアだと知った。
- ・ 「あたりまえ」だと思っていたことが、「あたりまえ」は自分たちで作っていることに気が付いた。
- ・ 意外と身近な場所でボランティアを必要としていることを知った。
- ・ コミュニケーションの大切さを知った。



・・・この夏の一句の一部紹介・・・

ボランティア 地域の未来 作ろうよ

色々な人と話して 広がる輪



大変だ それでも乗り越え 成長だ

緊張が 人とつながり 笑みになる

振り返りと修了証授与 ボランティアを終えていい笑顔！

外国につながる子どもの自己肯定感を育むために ～未来に向けて、大人ができること～



8月3日に多文化共生セミナーを開催し、ミュージシャン、一般社団法人 Enije 代表の矢野デイビットさんにお話しをいただきました。当事者、その親御さん、学校関係者、外国人支援ボランティアなど 35 人が参加しました。ご自分の生い立ちから現在に至るまでのご経験や考えてきたことを真心を込めてお話ししてくださいました。ガーナに行くたびに、「一人の人間として、地球人として、ありのままの自分を育てる。誰にも守ってもらえない子どもたちを放っておく大人にはならない。」との思いを持つようになったそうです。



「愛情を持って寄り添ってもらったこと」そして「いろいろな人と出会えたこと」がデイビットさんにとって、かけがえのないことだったそうです。

「寄り添うことは嘘のない気持ちで愛情を向けることで、愛をもらった子は、いつかどこかで別の誰かにその愛を与えているはず」というデイビットさんの言葉は、多くの参加者の心を揺さぶりました。

・・・参加者アンケートより・・・

クラスの中に日本語を話せない生徒がいてコミュニケーションがとりにくい事を悩んでいました。何を望んでいるのかずっと考えていましたが、そういうことではないのだと感じました。書ききれないくらいたくさんの学びがありとても有意義な時間となりました。

小学校で外国につながる子どもに関わるときに今までいつも「日本になじむためにはどうしたら良いか」「早く日本語を教えてあげよう」と考えていましたが、それよりも『寄り添うこと』が大切なのだということがわかりました。どのようにしたら寄り添うことができるのか考え、実践していきたいと思います。

大人になればなるほど周りのサポートが必要。誰にも守ってもらえない子どもたちを放っておく大人にはならない！という言葉がとても印象に残りました。

今回のセミナーでは、いろいろ学びました。人生は大変なこともあるけど諦めないで前を向く事が大事だということが心に残りました。

違いがあって面白い。その違いを持ったまま一緒に生きていくことを大事にしたい。

つづき MY プラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)
開館時間 平日：午前10時～午後9時
土日祝：午前10時～午後6時
休館日 第3月曜日(祝日の場合火曜日)、年末年始
アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン
「センター北」駅下車 徒歩3分
ノースポート・モール5階

編集後記

夏休みが終わりました。色々な体験を通して、違った自分を再発見した方もたくさんいると思います。学校や地域での、秋のイベントに、ぜひ積極的に参加してみたいかがでしょうか。(Y.S & F.E)

